

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
福祉のまちづくり歩道改良事業		歩道の段差等の改善を行い、高齢者及び身体障がい者等に配慮した福祉のまちづくりを推進することを目的として、歩道の段差を改善し、視覚障がい者誘導ブロックを設置する。			指標	総計の現状値	R6実績値	令和3年度から事業を実施し、1箇所の歩道の段差を改善し、62箇所の視覚障がい者誘導ブロックを設置した。	
総合計画の位置づけ					市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民の割合	52.9%	51.0%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	1,833						
			(1,833)						
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R6決算見込額	0						
			(0)						
		R7予算額	2,451						
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
自転車ネットワーク整備事業		歩行者、自転車、自動車を区分し、歩行者・自転車利用者の快適で安全な歩行者・自転車通行空間を確保することを目的として、車道に自転車通行帯を整備する。			指標	総計の現状値	R6実績値	平成28年度から事業を実施し、整備済延長は、森9号線1,060m、助松千原線1,060m、泉大津池浦線1,660m、助松式内線3,060m、南海中央線3,930m、泉大津中央線1,800mの合計12,570mとなった。	
総合計画の位置づけ					市内の移動を徒歩や自転車で行ってる市民の割合	73.6%	70.7%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	32,318						
			(27,917)						
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R6決算見込額	0						
			(0)						
		R7予算額	75,483						
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み	
交通安全施設整備事業		市内一円の市管理道路について、安心で快適な道路環境整備を推進することを目的とする。			指標	総計の現状値	R6実績値	泉大津警察署と市内の危険箇所や市民の要望について情報共有することで、迅速に対応することができた。	
総合計画の位置づけ					市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民の割合	52.9%	51.0%		
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち								
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R5決算額	37,767						
			37,767						
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R6決算見込額	44,600						
			44,600						
		R7予算額	57,522						

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
放置自転車対策事業		駅周辺道路等における自転車等の放置防止に対する措置を講ずることにより歩行者等の安全な通行と災害時における防災活動の確保を図るとともに良好な生活環境を保持することを目的とする。			指標	総計の現状値	R6実績値	放置自転車対策事業を指定管理者に総合的に行わせることで、事務負担の軽減と住民サービスの向上が図れた。
総合計画の位置づけ					市内の移動を徒歩や自転車で行っている市民の割合	73.6%	70.7%	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち							駐輪場の整備や指定管理者制度の導入により、放置自転車台数はかなり減少してきているが、今後も更に費用対効果を追求し効率のよい放置自転車対策を行う必要がある。
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち	事業費（うち市負担額）【千円】		R5決算額 11,377 R6決算見込額 13,853 R7予算額 15,453				
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R5決算額	11,377					
		R6決算見込額	13,853					
		R7予算額	15,453					
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
交通安全教育・啓発事業		交通弱者に対し、交通安全教室・研修会等を通じ交通安全意識の高揚を図る。			指標	総計の現状値	R6実績値	改正道路交通法により、自転車利用者の全世代にヘルメット着用が努力義務化となり、購入費用助成件数も大幅に増加となった。また、自転車利用五則のチラシを全戸配布するなど、自転車のマナー・ルールの周知に努めた。
総合計画の位置づけ					交通安全教室の開催回数（累計）	24回	26回	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	事業費（うち市負担額）【千円】		R5決算額 3,636 R6決算見込額 5,040 R7予算額 2,817				様々な啓発活動、交通安全教室により交通マナーの向上が図れているが、未だ、多くの方が自転車のマナー・ルールが守っていない方が散見されるため、交通安全啓発等の方法も検討すべきと考える。
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち	R5決算額	3,636					
個別目標の方向性	交通安全のための施設整備と啓発強化を進めます	R6決算見込額	5,040					
		R7予算額	2,817					
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
めいわく駐車対策事業		交通渋滞や交通事故の原因となる違法駐車車両に対して注意勧告を行い、歩行者の安全と交通の円滑化を確保する。			指標	総計の現状値	R6実績値	特になし。
総合計画の位置づけ					市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民の割合	52.9%	51.0%	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	事業費（うち市負担額）【千円】		R5決算額 0 R6決算見込額 0 R7予算額 54,000				
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち	R5決算額	0					
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R6決算見込額	0					
		R7予算額	54,000					

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
交通安全対策推進事業		従来の交通事故発生後の事後対策から新たな交通事故対策として、AI解析を行い数値化し、評価を行うとともに現地調査を行い関係機関と協議を重ね、通学に利用されている道路等の安全性を向上させることを目的とする。			指標	総計の現状値	R6実績値	令和5年度より事業開始
総合計画の位置づけ					交通事故件数	280件	332件	道路管理者で整備が可能な交通安全施設や法定外標示と、公安委員会が整備する交通安全施設が存在するため、整備の調整に時間をする事がある。
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち							
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
		R5決算額	1,056	R6決算見込額	1,056			
個別目標の方向性	交通安全のための施設整備と啓発強化を進めます	R7予算額	1,744		1,744			
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
道路・法定外公共物明示境界確定事業		道路及び法定外公共物の境界を確定することを目的とする。土地所有者からの公共用地境界確定申請を受けて、現場立会を行い、公共用地境界確定図を交付する。			指標	総計の現状値	R6実績値	令和6年度は62件の公共用地との境界が確定した。
総合計画の位置づけ					市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民の割合	52.9%	51.0%	境界確定には専門的な判断や経験が必要であり、今後これらの知識をどのように伝承するかが課題である。今後も道路等管理者として境界の確定を継続して行っていく。
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち	R5決算額	226	R6決算見込額	101			
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R7予算額	282		282			
事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
道路用地整備事業		市道路敷内に存する個人所有地の権原取得を目的とする。市道路敷内に存する個人所有地の寄附申請に伴い、現地測量し、地積測量図等の登記書類を作成し、市に所有権移転する。			指標	総計の現状値	R6実績値	市道路敷を構成している個人所有地について、寄附受納等により所有権、使用権等の権原を取得し、市道の保全が図れた。
総合計画の位置づけ					市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民の割合	52.9%	51.0%	事務処理には専門的な判断や経験が必要であり、今後これらの知識をどのように伝承するかが課題である。道路法の規定により、市道の敷地等について道路管理者が所有権、使用権等の権原を取得する必要があり、今後も継続して事業を行っていく。
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち	R5決算額	1,080	R6決算見込額	616			
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R7予算額	2,000		2,000			

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
地籍調査整備事業		土地所有者と官民境界の確認を図ることを目的とする。泉大津市公共施設適正配置基本計画に基づき、現地にて立会を行い、土地所有者と官民境界について確認する。			指標	総計の現状値	R6実績値	令和6年度は令和5年度から調査していた戎町の一部の地区で街区境界調査が完了した。
総合計画の位置づけ					市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民の割合	52.9%	51.0%	
基本目標	みんなが住みよい環境が整っているまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標	安心安全で快適に移動できるまち	R5決算額	2,577	689				
個別目標の方向性	日常の活動を支える安全な道路空間の整備を行います	R6決算見込額	519	180				
		R7予算額	9,720	2,493				